



2019・10・11

第 353 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

改憲発議強行を草の根からの運動で阻もう

2019年10月10日 九条の会

安倍首相は、先の参院選において市民と野党の共闘の頑張りで改憲勢力3分の2議席の維持に失敗したにもかかわらず、内閣改造と党役員人事で任期中の改憲発議強行に本腰を入れる体制をつくり、臨時国会に臨んできました。

安倍自民党がねらうのは、改憲発議の第一歩として憲法審査会において何が何でも自民党改憲案を提示し、その審議に入ることです。そのため、自民党は、改憲手続法改正審議と並行して改憲案の提示を行おうとするなど、なりふり構わぬ形で議論に入ろうとしています。臨時国会で改憲案を提示して来年通常国会で発議強行、というスケジュールを描いているからです。

臨時国会での所信表明演説においても、安倍首相は、改憲審議入りで演説を締めくくりました。「令和の時代に、日本がどのような国を目指すのか、その理想を議論すべき場こそ、憲法審査会ではないでしょうか。私たち国会議員が…しっかりと議論していく。皆さん、国民への責任を果たそうではありませんか」と。

それに呼応するように、衆議院議長が今

国会での改憲手続法の改正を促す発言をしたことは、その職責を逸脱した言語道断の暴挙といわねばねばなりません。

さらに、安倍自民党は、改憲問題がすすまない背景にある「安倍改憲反対」の国民世論を意識し、国会審議と平行して、草の根からの改憲世論づくりに本腰を入れようとしています。日本会議と連携し自民党全支部での改憲推進本部づくりをはじめ、改憲国民投票を見据えて策動を強めています。

韓国との対立を煽る一方で、朝鮮・中国の脅威を口実にして自衛隊の海外での武力行使を目指す9条改憲に執心する安倍政権の態度は、朝鮮半島の非核化、東北アジアの平和構築の方向に真っ向から逆行する極めて危険な策動です。安倍改憲を阻むことは、アジアと世界の人々に対する日本国民の責務となっています。

改憲の新たな局面を迎えたいま、まず必要なことは、こうした安倍改憲の狙いと危険性を市民が共有することです。「安倍政権下の改憲」には反対の声が多数ですが、自衛隊を憲法に明記する9条改憲の危険性は、まだまだ市民の中には浸透していません。

また改憲手続法は、いま問題になっている有料CMが「カネで改憲を買う」危険をもっているだけに留まらず、公務員・教育者の地位利用の国民投票運動の禁止や「組織的多数人買収・利害誘導罪」など市民の自発的な運動を規制する致命的危険をもっていることも見逃せません。草の根からの学習、討論運動を巻き起こしましょう。

先の参院選で3分の2を割らせた、3000万署名をはじめとする市民の運動に確信を持ち、改めて、署名、集会、スタンディング、ネットでの配信など草の根からの運動をさらに幅広く大きなものにしましょう。草の根からの市民の声で安倍改憲を包囲し、阻止しましょう。

地域に9条をどう広げるか

【岐阜市／4校区9条の会】 岐阜市で9月29日、「憲法9条を地域にどう広げるか」をテーマに4校区の「9条の会」活動報告会（平和のつどい）が開かれ約40人が参加しました。4校区は島中校区、早田・鷺山、常盤、岐阜西。

岐阜西9条の会の堀さんが開会あいさつで「国連気候サミットで若者が声を上げた意義は大きい。戦争への危機を今若者に訴えるときだ」と呼びかけました。

早田9条の会の太田芳彦さんは「3000万人署名の全戸訪問活動」について「約6割の住民が署名し、地域が見えてきた。高校生に変化が出ている」、岐阜西9条の会の棚橋嘉明さん、岩田多加子さんは「小中学校での岐阜空襲の授業」について、「生徒も親御さんも真剣に聞いてくれる。これからは平和授業を続けていく」と語りました。

参加者から「若者へのSNS対策が必要ではないか」「9条とともに25条の生存権の学習を」「若い人とのつながりをもつことが大事」などの意見が出されました。

岐阜・九条の会代表世話人の吉田千秋さんが「安倍内閣の無責任さが社会を危うくしていることに怒りを」と結びました。

第42回高崎9条ネット議事録から

19年9月19日

<豊岡八幡>9月2日に事務局会議。いままでプレハブの一戸建てを借りてきたが、家主さんが入居、引っ越しを余儀なくされた。会議は世話人の1人の家で開くことになった。8月19日にスタンディングを行った。9月は21日に予定。3000万署名は進んでいないが、続けることが必要だという点では一致している。

<群馬郡>8月25日イオン前で8名でスタンディング、9月9日は中泉とりせん前11名でスタンディングを行った。

<吉井>8月19日7:30からのスタンディングに6名参加。9月19日は5名。8月は世話人会ができなかったが、9月25日に開催予定。

<六郷>8月26日に世話人会。第5回総会を10月26日に新井団地公民館で開くことを決定。次回9月30日の世話人会でその準備をする。9月9日のスタンディングに最近入会した人を含めて7名参加。

<城東・塚沢>9月2日に10名で運営委員会。徴用工の問題など討議。11月9日に総会を開く。川名さんの9条の歌、斎藤さんの映像、山田さんの憲法クイズなどを予定している。土曜行動と合わせてシール投

票を行っているが、憲法9条改定に反対20、賛成1、わからない3といった状況。特に高校生とは対話がはずむ。中には9条を知らない生徒もいる。前回から毎回憲法の学習を世話人が交代で講師を務めて始めた。まずは前文から。

＜中川＞9月12日に5名でスタンディング。通る人は少ないが、沖縄の問題で女性が激励してくれたり、寄ってきて話しかけてくれる人がいた。潮目が変わったとまでは言えないが、土曜行動の署名も増えてきた。シール投票は対話になるので有効だ。

＜討論から一高崎9条ネット1000人の会員で何かできないか＞。暑さ、高齢化で足が止まっているが、地道に訪問活動を展開するほかに特効薬はない。運動として可視化されるものが必要。等々の意見が出たが、結論的に、高崎9条ネットとして改憲反対にしぼったチラシ20万枚を全戸配布することになった。チラシの内容、予算を含めた具体的計画は次回に検討。(特定秘密保護法の廃止を求める高崎市民の会「あきらめない」第70号)

北陸3県交流会分散会報告から

(19年9月8日)

＜第1分散会＞21人の参加で、始めにあさひ9条の会・丸岡9条の会・憲法をまもる小矢部の会の方からの報告がありました。そのあと全員から活動の苦勞や意見が出されましたが、40代から50代の人たちに参加してもらうにはどうすればいいか、署名にも否定的な人が多いということが悩みとして出てきました。また自衛隊の家族に対して隊員が戦争にかり出されてもいい

のかという提起が最も切実にとらえられていたようです。(三嶋記)

＜第2分散会＞滑川9条をイカス会などの報告があり、3000万人署名の地域の活動と一服状態の克服について話し合われました。若い人が住む新しい団地での行動の困難が出され、若い人に参加してもらうことが共通の課題として語られました。名案がないのが実情です。反面、高齢者が戦争体験を語ることの重要性も強調されました。また、「市民と野党の共闘」について福井から報告があり、粘り強い取り組みは示唆に富むものでした。(柴田記)

＜第3分散会＞憲法をまもる小矢部の会など、地域の取組みを報告しあいました。金沢市の各地域9条の会や敦賀市の9条の会など、3000万人署名を取り組みつつ、「ニュース」を発行しスタンディングをやり、地域の他の平和運動とも合流し平和行進を盛り上げ、映画会や漫才や落語会など、地域に溶け込んだ活動を工夫しています。参院選などについては、交流はあまりありませんでした。政治的闘争はもう少し日常茶飯事のこととして交流してもいいのではないかと思われました。(堀内記)

(富山県「憲法9条ファンクラブニューズレター」第184号)

朝鮮半島の歴史に学ぶ

【広島県／女性9条の会ひろしま】女性9条の会ひろしまは8月31日、ゆいぽーとで「結成13年の集い」を行い、104名が参加しました。秋風亭小まゆさんの落語「新番町皿屋敷」で笑い転げながら開会。

記念講演は、元教師・高橋信雄さんの「朝

鮮半島の歴史を学び、平和に貢献を」。秀吉の朝鮮出兵、江戸時代の朝鮮通信使、明治、大正、昭和の朝鮮政策の変化を学び、韓国併合条約により、日本が大韓帝国を支配下に置いた事実、そのため多くの朝鮮の人々が人権を奪われ、徴兵された事実。徴用工訴訟、慰安婦、韓国人原爆被害者などの重要な問題が存在し、安倍政権がこれらの歴史をきちんと認識せず、対応をしていないことなどを学びました。

深刻化する日韓問題は、歴史の真実に向き合い誠実かつ真摯に誤りを認め、未来への教訓とすること、信頼を築くことが大切であると思いました。(女性9条の会ひろしま・事務局長 富樫 恵「広島マスコミ9条の会」NO83)

日米地位協定の異常さに驚き

【福井県永平寺町／永平寺9条の会】 永平寺9条の会(上田誠代表)は9月28日、憲法カフェを松岡公民館で開きました。約30人が参加し、9条の会・ふくいの屋敷絃美事務局長を講師に、日米地位協定問題を学び交流しました。

屋敷氏は、日本と同じ敗戦国ながら、日米地位協定と異なるドイツ、イタリアの例として『平時』は国内法が米軍基地に適用される」と指摘しました。日本の国会や政府の上に位置づけられている日米合同委員会や、密約としての日米地位協定合意議事録の存在を告発しました。

参加者からは「目からうろこ。地位協定は直すべきだ」「せめて平時は日本の法律に従わせることは、自民でも賛成できるのではないか」との意見が出されました。

安倍政権下のメディアの役割は

【千葉県／九条の会千葉医療者の会他】

千葉市内で6日、東京新聞の望月衣塑子記者を講師に学習講演会「民主主義とは何かー安倍政権とメディア」が開かれ、240人が参加しました。九条の会・千葉医療者の会、千葉県民主医療機関連合会、千葉県保険医協会が共催し、反核医師の会ちばが後援。

望月氏は、安倍政権のもとの日韓対立が激化している現状にふれるとともに、首相官邸での記者会見で、自身が質問妨害を受けてきたことや報道が萎縮している実態を報告。「メディアの役割は、権力の監視、チェックで戦争をさせないことです」と強調しました。

安倍退陣求め商店街をデモ

【香川県／9条の会かがわ、香川革新懇】

9条の会かがわ、香川革新懇は6日、安倍内閣退陣を求めて40人が高松市の商店街をデモ行進しました。

行進前の集会では日本共産党の岡田まなみ市議、立憲民主党県連の竹太敏信幹事長・県議、県保険医協会の太田展生理事長がトーク。岡田氏は「戦争を再び繰り返さないと決意した、この憲法を次の世代に絶対残さないといけない」と話しました。太田氏は「高齢者の医療費負担が増える一方、アメリカに言われて兵器を爆買する安倍政権に怒りを感じる。安倍退陣へ野党は連合政権を実現させてほしい」と訴えました。

初参加の市内の女性(87)は「年金生活なので生活は苦しい。安倍さんには早く辞めてほしい」と話しました。